

愛の献血に
協力してね！



献血キャラクター
“けんけつちゃん”



献血を取り巻く状況

養父市の献血者数は、年々減少傾向にあります。(グラフ①参照) この傾向は、養父市だけに限らず全国的なもので、このままいくと今後の輸血医療に支障をきたすことが心配されます。

輸血に必要な血液の量は、年間を通してほぼ一定ですが、献血に協力いただける数は季節によって変動があり、一定量の確保が困難な状況です。また、献血された血液は、輸血用だけではなく貴重な医薬品を製造するためにもなくてはならないものです。しかし、国内の献血だけで

「献血」にご協力ください

8月は夏期献血推進月間です

医学の発達した現在でも、血液は人工的に造ることができません。また、血液は生きた細胞であるため、長期間保存することもできません。献血に必要な血液を常に確保するためには、絶えず私たちの献血が必要です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

はまかなえず、医薬品の種類によっては約4〜7割を外国からの輸入に頼っています。安全面からも国内の献血でまかなうことが望ましく、まだまだ血液は足りていないのが現状です。

健康状態の確認にもなります

献血前の問診や検査は、血液を提供しても大丈夫かどうかのチェックでもあります。「献血ができること」は、健康の証でもあります。血液検査の結果が、数週間後にお手元に届きますので、健康状態を確認してください。

【グラフ①】献血者の推移（養父市）

